

本書（晶文社『日本語教育能力検定試験実戦予想問題 '13』）のなかで誤りがございましたので、謹んで訂正申し上げます。読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

### 正誤表（重要な修正）

頁	当該箇所	訂正前	訂正後	備考
解答・解説編 p 4	問題1 (3) 1拍待機型および 1拍発音型の図表 内2箇所	撥音に後続する子音が、	促音に後続する子音が、	2013/ 9/24 更新
解答・解説編 p 85	問題1 3番 解説部分	b:「それはニホンノハシ(○●○○●○)です」(日本の箸)	b:「それはニホンノハシ(●●○○●○)です」(日本の箸) ※選択肢bの1拍目と2拍目が高い型に訂正いたします。	2013/ 9/24 更新
解答・解説編 p 142	問題1 3番 解説部分	学習者のアクセントは、2拍目と5拍目に核がある。	学習者のアクセントは、2拍目と6拍目に核がある。	2013/ 9/24 更新
解答・解説編 p 142	問題1 5番 解説部分	学習者のアクセントは、5拍目に核がある。	学習者のアクセントは、4拍目に核がある。	2013/ 9/24 更新
解答・解説編 p 47	問題8 問1 解説部分	3 役割スキーマ:「自分とはどういう人間であるか」という自己の属性に関する知識 4 自己スキーマ:人種、性、職業など社会的カテゴリーや役割によって区分される集団やその成員に関する知識で、ステレオタイプや偏見、差別などがある。	3 役割スキーマ:人種、性、職業など社会的カテゴリーや役割によって区分される集団やその成員に関する知識で、ステレオタイプや偏見、差別などがある。 4 自己スキーマ:「自分とはどういう人間であるか」という自己の属性に関する知識	2013/ 7/19 更新
解答・解説編 p 116	問題1 (1) の 解説部分	4の [w] は、日本語のワ行の子音（半母音）で、非円唇性の「軟口蓋・接近音」である。 4 [w] * [有声 軟口蓋 接近音] … [w] は円唇性の「両唇軟口蓋・接近音」	4の [j] は、日本語のヤ行の子音（半母音）で、「硬口蓋・接近音」である。 4 [j] * [有声 硬口蓋 接近音]	2013/ 5/29 更新

### 正誤表（軽微な修正）

頁	当該箇所	訂正前	訂正後	備考
解答・解説編 p 76	問題10 問1の 解説部分	遺伝的伝承（選択肢1）である。	遺伝的伝承（選択肢2）である。	2013/10/7 更新
解答・解説編 p 43	問題4 問2の 解説部分	共に話し手の意志・決意の意を表すので、選択肢2「2人称の主語の述語になれない」。	共に話し手の意志・決意の意を表すので、選択肢4「2人称の主語の述語になれない」。	2013/ 9/24 更新
解答・解説編 p 123	問題3 (9) の解説部分	「彼女が結婚する」という部分は、	「彼が結婚する」という部分は、	2013/ 9/24 更新
解答・解説編 p 143	問題2 解説部分	学「 <u>そ</u> ではこちらを見てください」（←見て）	学「 <u>それ</u> ではこちらを見てください」（←見て）	2013/ 9/24 更新
問題編 p 283	問題15 問3 選択肢3	学習者の自律的学習のための言語ポートフォリオが考案されている。	学習者の自律的学習のための言語ポートフォリオが考案されている。	2013/ 5/29 更新